



平成28年9月1日現在

総人口	12,611人
男	6,117人
女	6,494人
世帯数	5,135世帯

# 郷土愛!!

## ここによみがえる

### 「我郷(島内)の歌」

#### 我郷(島内)の歌

犬飼芳郎先生作

(幸) 奈良井の流れ清くして  
梓の水は走るごと  
川に囲まる吾が里に  
歌う我等が幸高し

(春) 聞け島内の春の音  
霞み深くも鶯の  
木の間伝いに響くとき  
黎明胸をたたえたり

(夏) 緑も深き成相の  
光にみつる初夏の  
萌ゆる思いを胸として  
進みて行かん若き友

(秋) 秋万紅の天物山  
二郡の平野羽搏きて  
澄みすむ空を翔るごと  
吾が行く道に聳えたり

(冬) 平瀬の山に冬くれれば  
城跡は寂し天文の  
昔を偲ぶ心にも  
我郷の情趣歌はなん

「大正時代に島内の歌が作られたのを知っていますか？」

百歳になられた高山庄司さん(高松)が、福祉ひろばでお話しされ、「我郷(島内)の歌」の歌詞を持参されたのが始まりでした。

その後、その話を聞いた方



写真は若い頃の犬飼芳郎先生、明治32年10月10日、島内東方に生まれる。島内尋常小學校では大正8年、昭和2年まで9年間にわたり教師を勤める。

がこの歌の楽譜付の歌詞カードや、歌を録音したカセットテープを持参してください、歌詞カードはコピーし、また録音テープはCDにダビングして、機会を得て島内の皆様にも聴いていただきました。すると、川霧コーラスを指導されている吉江節子さんから、録音テープの声は亡き父の声ですとお話があり、山浦鶴男さんであることがわかりました。

こうして「我郷の歌」の存在が地域住民に広がっていく中、毎年灯籠まつりのお話し劇場の演出をされている美咲蘭さんは、30回を迎えた今年の灯籠まつりで、この歌や地域の歴史、民話を朗読劇の中で紹介してくれました。

さらに、この歌を作られた犬飼芳郎先生の娘さんと、東方に在住する犬飼喜久代さんが公民館を訪れ、「この歌は、大正13年3月に島内小学校高等科を卒業された教え子に、父の犬飼芳郎が記念に送った冊子の中にあります」とその所在を教えてくださいました。

その冊子を見ると、表紙には、『卒業の人々に捧ぐ』新島星一郎とあり、送別の辞から始まり、先生の歌をはじめ先人の言葉や歌が数多く掲載さ

### 我郷島内の歌 犬飼芳郎先生作

てとのまば  
しおいやれ  
くのあぐく  
よるりんゆ  
きはなてふ  
れきのに  
がちかうま  
なうふこや  
のまもん  
いしりませ  
らけどきら  
なきみあひ

まとののて  
ごすつきん  
るいなたも  
しぐつばん  
はうははて  
はくるやし  
ずかついび  
みふみへさ  
のみにのは  
さすらんし  
づーかぐよ  
あかひにじ

にきてとも  
ととしごに  
さくとろろ  
がびねけこ  
わひむかこ  
るにををぶ  
まいいらの  
こたもー  
かづおそし  
にまるむを  
わのゆすし  
ーみか  
かこもすむ

しりもりん  
かたとたな  
たえきえは  
ちたかびた  
さたわそう  
がをんにし  
らねかちう  
れー  
わむゆみじよ  
ういてくの  
とめみゆう  
ーいすがき  
うれすわが

れていました。新島星一郎とは犬飼芳郎先生の号で、喜久代さんのお話しでは、新しい島内の星という意を込めたのではないかとのことでした。

次に冊子の序には、『歌集のようなものができました。お別れの記念としてお送りします。この歌集を取り出すとき、きつと昔のことを思い出すことでしょうか』とありました。歌が大好きな先生であったことが伺えます。

さらに冊子の中で、この歌の題字が「吾が里の歌」新島星一郎となつていきます。作曲も先生であつたのかは明確ではありませんが、今後も郷土島内の歌として守っていきたいものです。

今年の芸術文化祭で歌つてみたいと言うコーラスグループもあります。地域の様々な行事や会合の機会にみんなと一緒に歌うことができればとも思います。

この島内の歌については今後調査を続けますので、情報をお持ちの方は島内公民館まで連絡をお願いします。

# 第30回 島内灯笼まつり

8/7

子どもたちでにぎわった「ふれあい広場」、中学生も企画運営に協力しました。



オープニングセレモニーのファンファーレは松本市消防団のラッパ隊



おはなしファミリー劇場。島内の歴史や民話の紹介がありました



人気のスイカ割りには、30回を記念して数を増やしました。



和太鼓「さんとこ」の迫力の演奏



## 平成28年夏休み小学生講座

島内公民館では、8月1日と8月8日の二日に分けて、恒例の夏休み小学生講座を開催しました。

本年度は、飯田市の「伊那谷道中かぶちゃん村」に行き、「動物マクネット作り」や「からくり館」等の施設体験を行いました。募集数を大きく上回る申込みの中、抽選に当たった子どもたちは、暑さにも負けず、元気に楽しんでいました。中には、1年生から6年生になるまで、毎回、当講座に参加している子が何人かいて、「来年から来られないなんてつまらない」と主催者側としては大変うれしい言葉をかけてくれました。来年度も子どもたちにより思い出となるような講座を企画してまいります。

## スポーツ大会の結果

☆夏季スポーツ大会 (8月21日)

【野球の部】

優勝 町

【ソフトバレーの部】

優勝 青島A

準優勝 北方

第3位 町

青島C



## ◆感想文

初めて体験したこともたくさんあって、とても面白かったです。かぶちゃん村は、すごく暑かったけど、大道芸人のさっちゃんのハラハラする芸は、あっかんでした。まゆ玉作り、からくり屋敷、神社のおまいりもしたし、昔っぽい売店もたくさんあって、とても楽しかったです。

小学生最後のバス旅行を楽しみました。【六年 男子】



## 島内公民館ギャラリー

「ピアッサ」の予定

松島中学校生徒作品展  
10月4日～10月21日

公民館利用サークル写真展  
10月24日～11月10日